

2016年1月13日 全8頁

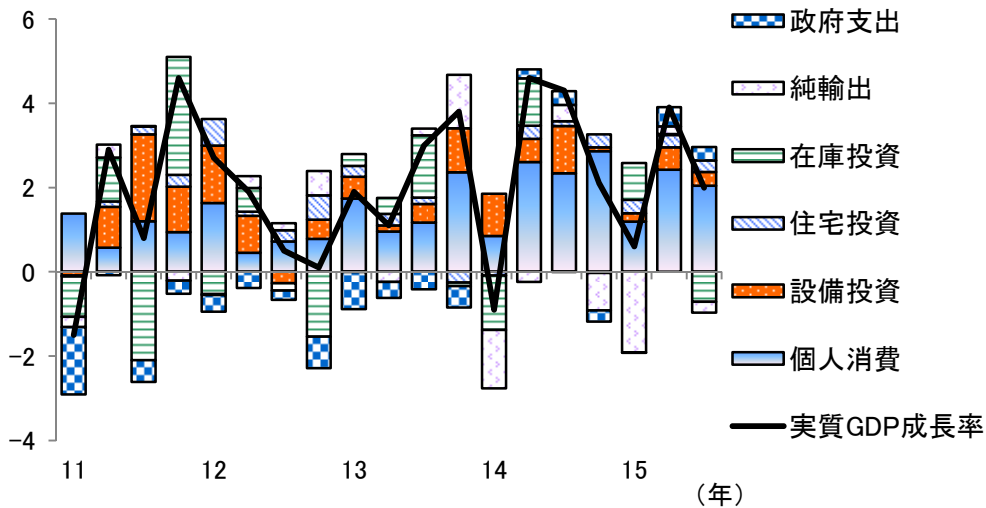
アメリカ経済グラフポケット (2016年1月号)

2016年1月12日発表分までの主要経済指標

ニューヨークリサーチセンター
エコノミスト 橋本 政彦

実質GDPの推移

(前期比年率、%、%pt)



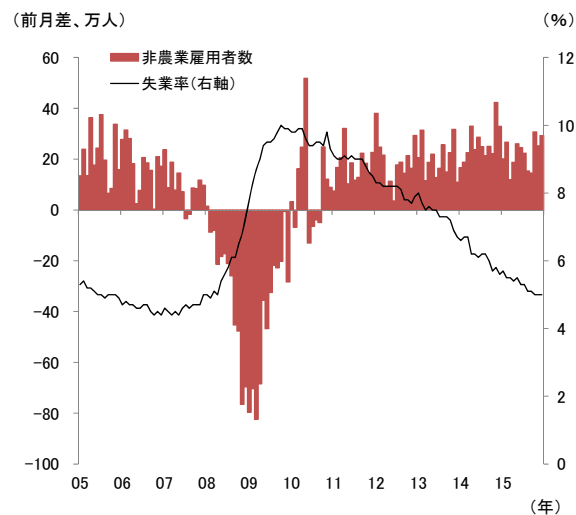
(前期比年率、%、%pt)	2013	2014				2015		
	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9
国内総生産	3.8	-0.9	4.6	4.3	2.1	0.6	3.9	2.0
個人消費	3.5	1.3	3.8	3.5	4.3	1.8	3.6	3.0
設備投資	8.7	8.3	4.4	9.0	0.7	1.6	4.1	2.6
住宅投資	-8.1	-2.8	10.4	3.4	10.0	10.1	9.3	8.2
政府支出	-2.7	0.0	1.2	1.8	-1.4	-0.1	2.6	1.8
輸出	10.9	-6.7	9.8	1.8	5.4	-6.0	5.1	0.7
輸入	1.0	2.8	9.6	-0.8	10.3	7.1	3.0	2.3
寄与度								
個人消費	2.4	0.9	2.6	2.3	2.9	1.2	2.4	2.0
設備投資	1.1	1.0	0.6	1.1	0.1	0.2	0.5	0.3
住宅投資	-0.3	-0.1	0.3	0.1	0.3	0.3	0.3	0.3
在庫投資	-0.1	-1.3	1.1	0.0	0.0	0.9	0.0	-0.7
政府支出	-0.5	0.0	0.2	0.3	-0.3	0.0	0.5	0.3
輸出	1.4	-1.0	1.3	0.2	0.7	-0.8	0.6	0.1
輸入	-0.2	-0.4	-1.5	0.2	-1.6	-1.1	-0.5	-0.4

(出所) BEA, Haver Analyticsより大和総研作成

雇用環境¹

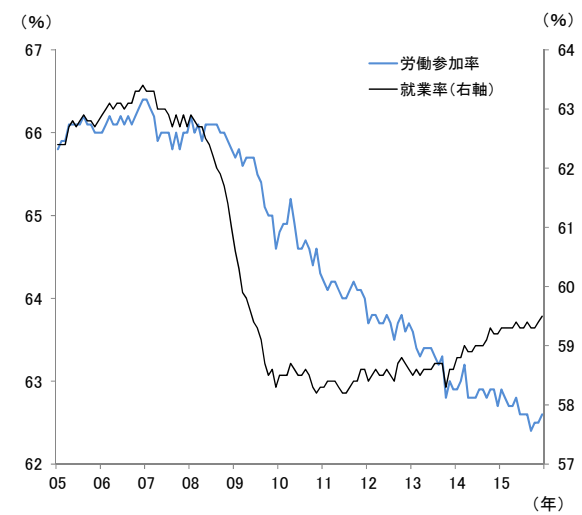
- ◆ 2015年12月の失業率は5.0%となり、前月から横ばいとなった。失業者数は前月から減少し、就業者数は前月から増加したが、労働参加率が高まったことで失業率は横ばいに留まった。
- ◆ 非農業雇用者数の前月差は29.2万人増となった。非農業雇用者数の前月差の6ヵ月平均は22.9万人増であった。

非農業雇用者数と失業率



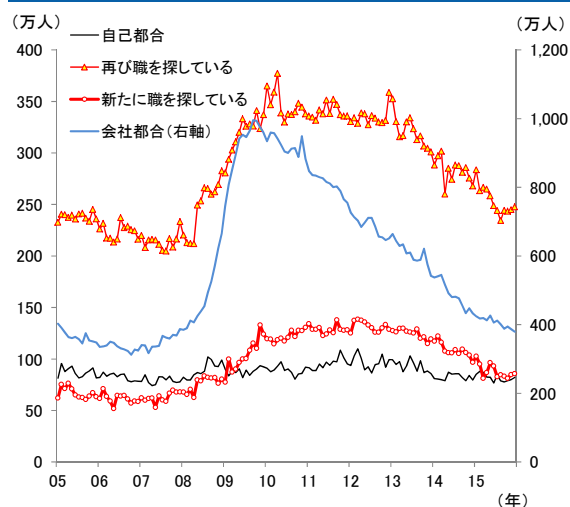
(出所)BLS, Haver Analyticsより大和総研作成

労働参加率と就業率



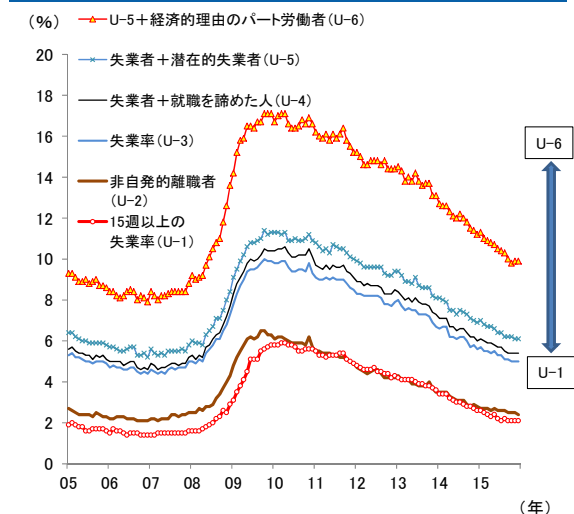
(出所)BLS, Haver Analyticsより大和総研作成

理由別失業者数



(出所)BLS, Haver Analyticsより大和総研作成

定義別失業率



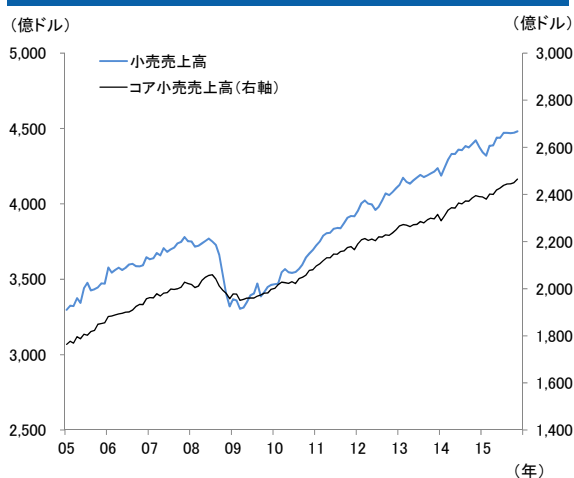
(出所)BLS, Haver Analyticsより大和総研作成

¹ 大和総研 ニューヨークリサーチセンター 橋本政彦「期待以上の雇用増も、賃金上昇は一服」（2016年1月12日）参照。http://www.dir.co.jp/research/report/overseas/usa/20160112_010516.html

個人消費

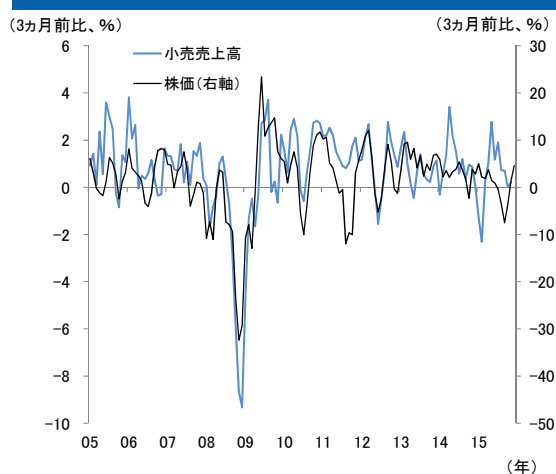
- ◆ 2015年11月の小売売上高は前月比0.2%増加した。コア小売売上高は同0.6%増加し、7ヵ月連続の増加となった。
- ◆ 12月のロイター/ミシガン大消費者センチメントは、前月の91.3から92.6に上昇した。期待指数は前月から低下したものの、現況指数が大きく上昇し、3ヵ月連続の上昇となった。
- ◆ 12月の自動車販売台数は前月比4.6%減少し、年率換算で1,734万台であった。乗用車、ライトトラックの双方が前月から減少し、4ヵ月ぶりに1,800万台を下回った。

小売売上高の推移



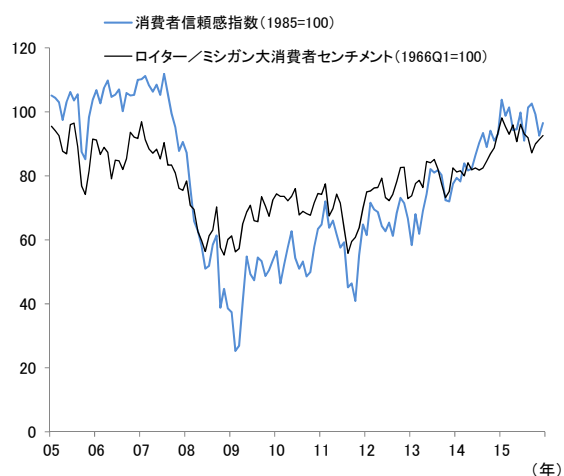
(注)コア小売売上高は自動車ディーラー、ガソリンスタンド、
建材・園芸、飲食サービスを除く。
(出所) Census, Haver Analyticsより大和総研作成

消費と株価



(注) 株価はWilshire5000。
(出所) Census, Dow Jones, Haver Analyticsより大和総研作成

消費者マインド



(出所) ロイター/ミシガン大, Conference Board, Haver Analyticsより
大和総研作成

自動車販売台数

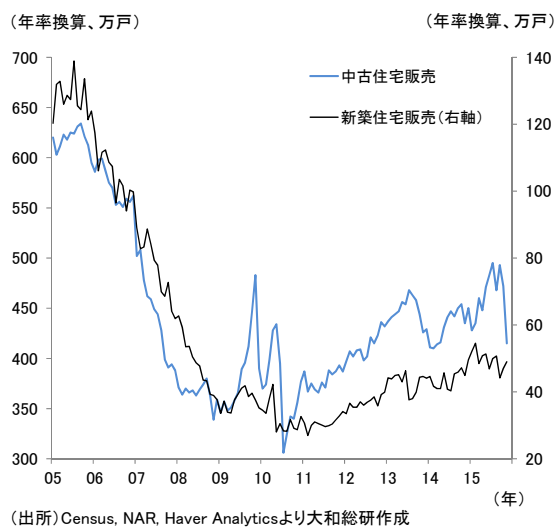


(出所) Autodata, Haver Analyticsより大和総研作成

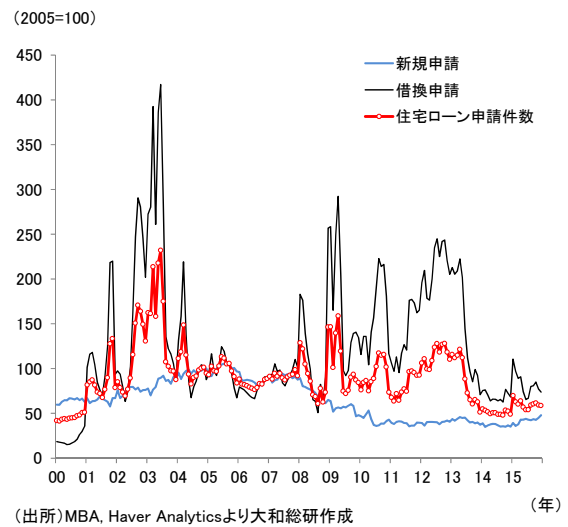
住宅市場

- ◆ 2015年11月の新築住宅着工（一戸建てと集合住宅を含む）は、前月比10.5%増の年率換算117.3万戸であった。
- ◆ 11月の中古住宅販売（一戸建て）は、前月比12.1%減と2ヵ月連続で減少し、年率換算415.0万戸となった。
- ◆ 11月の新築住宅販売（一戸建て）は、前月比4.3%増加し、年率換算49.0万戸であった。
- ◆ 10月のケースシラー住宅価格指数（20都市）は前月比0.8%上昇した。

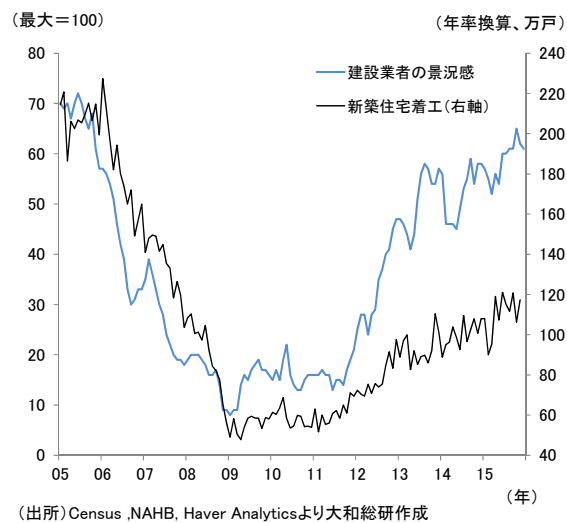
住宅販売（一戸建て）



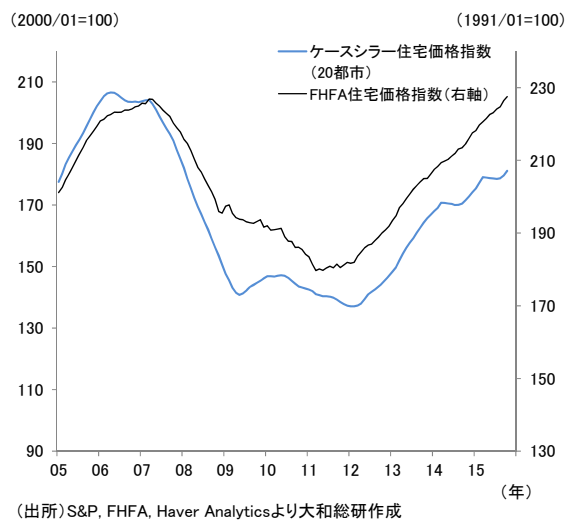
住宅ローン申請件数



住宅着工と建設業者の景況感



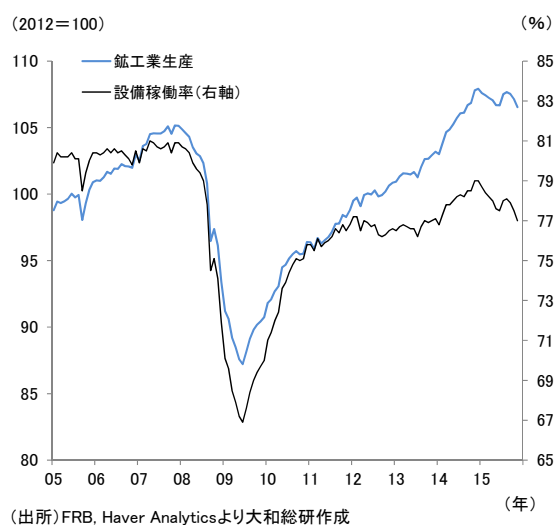
住宅価格



企業動向

- ◆ 2015年11月の鉱工業生産指数は前月比0.6%低下し、3ヵ月連続の低下となった。指数全体の約7割を占める製造業（SICベース）は前月から横ばいであった。
- ◆ 11月の国防・民間航空機を除く資本財受注（コア資本財受注）は前月比0.3%減で、3ヵ月ぶりに減少した。
- ◆ 12月のISM製造業指数は、前月差0.4%ポイント低下の48.2%であった。6ヵ月連続で低下し、基準となる50%を2ヵ月連続で下回った。非製造業指数は、前月から0.6%ポイント低下し、55.3%であった。

鉱工業生産と設備稼働率



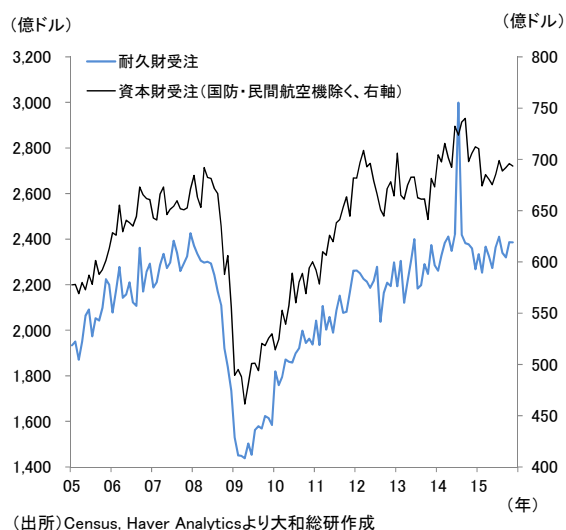
企業の景況感



製造業の出荷・在庫



耐久財受注



物価動向

- ◆ 2015年11月のCPI(消費者物価指数)は前年比0.5%上昇した。コアCPIは同2.0%上昇し、前月から上昇幅が拡大した。
- ◆ 12月の2年先期待インフレ率は1.54%、5年先期待インフレ率は1.66%であり、いずれも前月から上昇した。
- ◆ 12月末のWTI原油先物価格は37.04ドル/バレルと、11月末の41.65ドル/バレルから低下した。

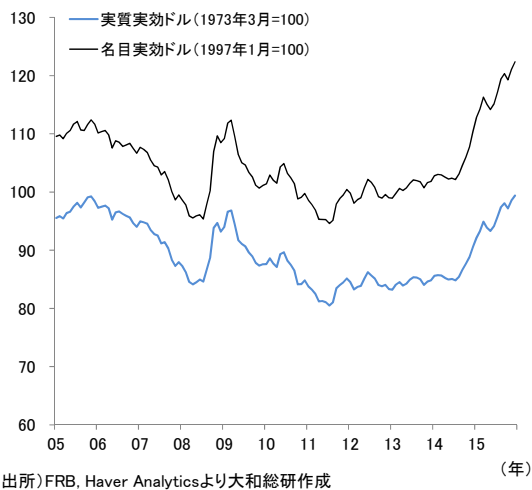
消費者物価指数



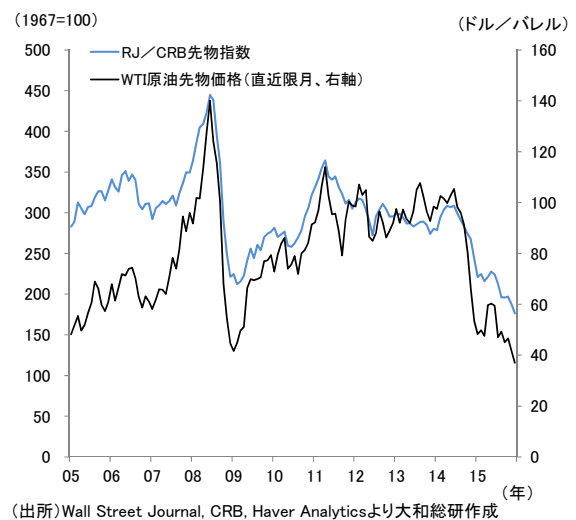
期待インフレ率



実効為替レート(ブロード)



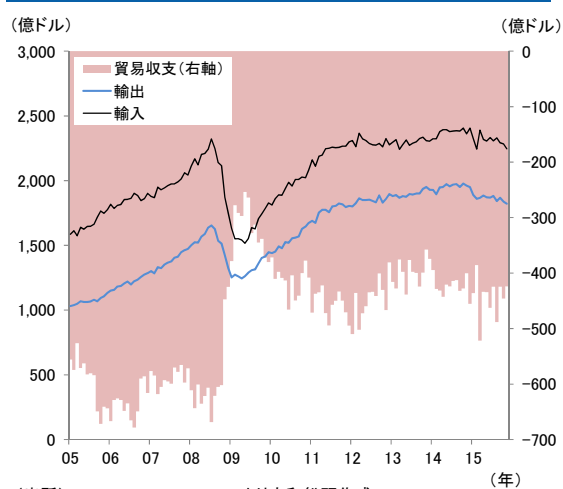
コモディティ価格



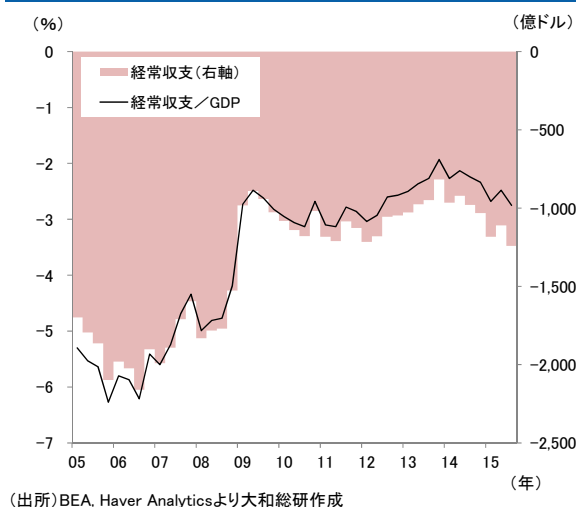
輸出入・経常収支

- ◆ 2015年11月の貿易収支（財・サービス）は、輸出が前月比0.9%減少し、輸入は同1.7%減少した。輸出は、携帯電話や医薬品などの消費財、鉱物性燃料などの工業用品が減少した。一方の輸入は、消費財の減少が主な押し下げ要因となった。貿易赤字は前月から5.0%縮小し、約424億ドルとなった。
- ◆ 地域別（財）では、中国への輸出が前年比11.9%減少し、欧州向けも同7.4%減少、日本向けも同2.1%減少した。輸入は、欧州からの輸入が同4.4%増加、日本からの輸入が同0.2%増加したが、中国からの輸入は同0.9%減少した。

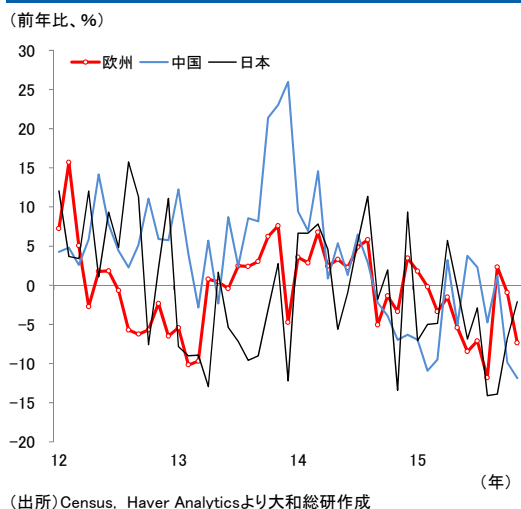
貿易収支動向



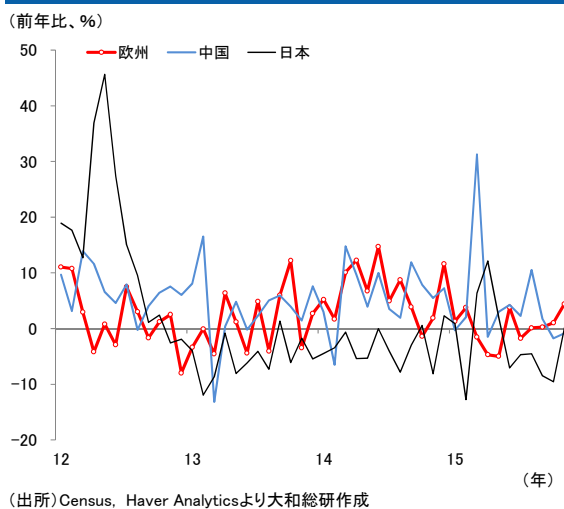
経常収支の推移



国・地域別輸出動向



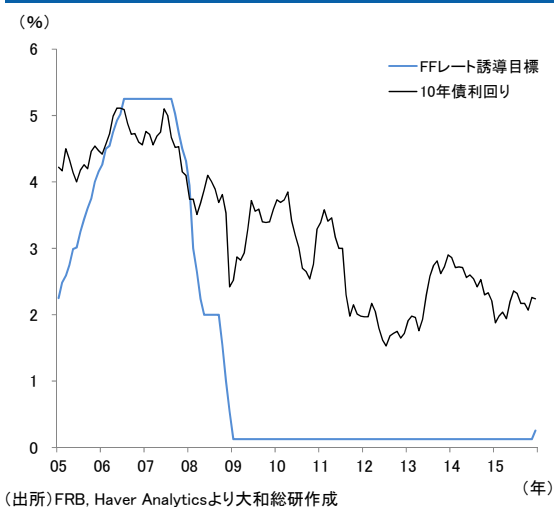
国・地域別輸入動向



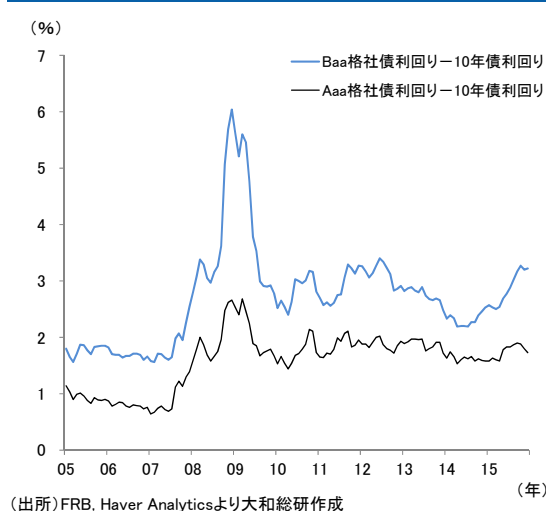
金融・財政

- ◆ 2015年12月のFOMC（連邦公開市場委員会）において、政策金利であるFF（フェデラルファンド）レートの目標レンジが0.25%pt引き上げられた。保有する資産規模については、現在の水準を維持することを決定した。FRBの資産残高は、直近の2016年1月6日の週平均が約4兆5,300億ドルであった。
- ◆ 12月の長期金利（10年債利回り）の平均値は2.24%となった。FOMCで利上げが決定された後も横ばい圏で推移し、前月から小幅に低下した。
- ◆ 連邦政府の財政収支（12ヵ月平均）は、トレンドとして赤字幅が縮小している。

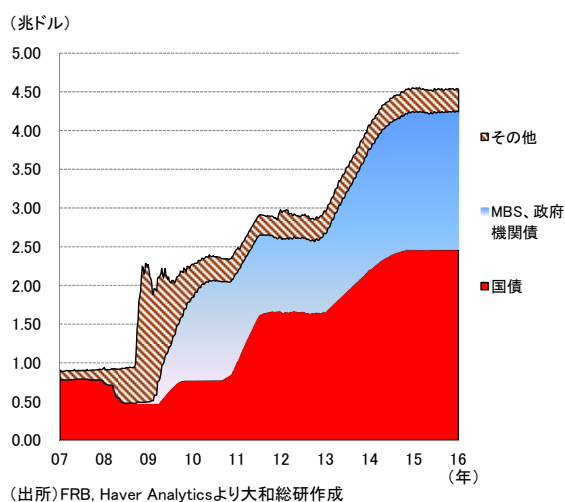
政策金利・長期金利



クレジットスプレッド



FRBの資産構成



連邦政府の財政収支

